

# プログラム

1 日目 会場：愛知学院大学 名城公園キャンパス アガルスホール

和歌山県立医科大学みらい医療推進センターげんき開発研究所共催セミナー

12:00-13:00

「地域に広がるパラスポーツサポートー和歌山医大モデルの実践と展開ー」……………14

講師 後藤 賢二 和歌山県立医科大学みらい医療推進センターげんき開発研究所  
座長 佐藤 敬広 東北福祉大学

## 特別講演

13:15-14:15

「よろこびを力に~私の社会活動・障がい者と共に育つ」…………… 15

演者 有森 裕子  
座長 田島 文博 日本パラスポーツ学会 / ちゅうざん病院

## シンポジウム①

14:40-15:40

「女性パラアスリートのサポート」……………16

シンポジスト 小倉 理恵 株式会社ブリヂストン  
シンポジスト 吉越 美佐 トライアスロンジャパン  
シンポジスト 鈴木 徹 日本パラ陸上競技連盟  
座長 上出 杏里 国立成育医療研究センター小児外科系専門診療部リハビリテーション科

## 教育講演

15:50-16:50

(公益社団法人日本リハビリテーション医学会 生涯教育単位付与項目)

「パラスポーツにおけるメディカルサポート」……………18

演者 中村 健 横浜市立大学大学院医学研究科リハビリテーション科学教室  
座長 緒方 徹 東京大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座

2 日目 愛知学院大学 日進キャンパス 学院会館ホール

一般演題 1 パラスポーツ選手の身体機能

9:10-10:20

座長 新井 裕志 京都府立医科大学 大学院医学研究科

0-1-1 支援学校の枠を超えてのスポーツ参加が知的障がい者の体力に与える影響

山田 隆人 関西医療大学……………26

0-1-2 競技参加経験とダウン症児・者の身体組成・運動機能との関連

山内 通恵 熊本大学大学院生命科学研究部 小児科学講座……………26

0-1-3 パラアスリートにおける脊髄損傷と車いす使用が脂質異常症に与える影響：横断研究

牛尾 会 横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室……………27

0-1-4 当事者研究によるトップパラアスリートの起床時体温変動と体調管理への応用

長島 理 株式会社 LIXIL 環境技術開発部……………27

0-1-5 車いす陸上競技選手における 30 秒間全力走の筋酸素動態-競技レベルの異なる 2 選手の比較-	
川端 浩一	宝塚医療大学和歌山保健医療学部…………… 28
0-1-6 アイススラリ-摂取による車椅子ソフトボール選手の身体冷却効果	
加藤 莉奈	日本福祉大学…………… 28
0-1-7 足底AVA冷却が頸髄損傷者の暑熱下運動時の深部体温上昇に及ぼす影響	
下田 武良	国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科…………… 29

**日本パラスポーツ学会・日本パラスポーツトレーナー学会・日本パラスポーツ看護学会合同企画** 10:30-11:30

「三学会が共同してできること、現場と研究」……………19

**日本パラスポーツトレーナー学会**

- 鳥居 昭久 東京保健医療専門職大学
- 赤岩 龍士 専門学校富士リハビリテーション大学校
- 日本パラスポーツ看護学会**
- 田村 玉美 太成学院大学看護学部
- 黒田 るみ 福島県立医科大学看護学部
- 座長 大川 裕行 西九州大学リハビリテーション学部

**株式会社インボディ・ジャパン共催セミナー** 11:40-12:40

「地域に広がるパラスポーツサポート-和歌山医大モデルの実践と展開-」……………22

- 講師 井谷 俊介 SMBC 日興証券株式会社
- 座長 後藤 亜輝子 株式会社インボディ・ジャパン

**義足、車椅子レーサー体験** 13:00-14:30

会場：愛知学院大学 日進キャンパス 第一グラウンド……………23

**一般演題 2 文化と歴史 (ポスター)** 13:00-14:00

座長 樋口 幸治 国立リハビリテーションセンター

P-1-1 くまもと車いすふれあいジョギング大会の 40 年の歩み-これまでの変遷と今後の展望-	
後藤 太作	熊本パラスポーツ指導者協議会…………… 29
P-1-2 「東京 2025 デフリンピック」における筑波技術大学の取り組み	
中島 幸則	筑波技術大学…………… 30
P-1-3 日本におけるパラバドミントンの歴史的変遷と普及の方向性	
兒玉 友	日本福祉大学…………… 30
P-1-4 史資料から読み解くフェスピックの理念とその歴史的意義	
服部 直充	太陽の家…………… 31

P-1-5	障害福祉サービス事業所と連携した地域交流ボッチャクラブの設立	熊谷 俊介	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール	31
P-1-6	地域におけるパラスポーツリソースの整備状況と課題：アントラージュの視点から	平松 竜司	東京大学スポーツ先端科学連携研究機	32
P-1-7	岩手県における卓球バレー大会参加者の意識に関する研究	上田 大介	いわてリハビリテーションセンター	32
P-1-8	パラスポーツ支援における男女共同参画の視点 ～日本パラリンピック委員会 女性スポーツ委員会調査結果より～	上出 杏里	国立成育医療研究センター 他	33

**一般演題3 クラス分け、動作分析 (ポスター) 13:00-14:00**

座長 西村 直記 日本福祉大学

P-2-1	パラサイクリングにおける国内クラス分けの現状	古田 雅拓	筑波大学附属病院 リハビリテーション部 他	33
P-2-2	パラ卓球選手への医科学的支援 -動作計測に基づく車椅子セッティングのケーススタディ-	池田 竜士	国立障害者リハビリテーションセンター 他	34
P-2-3	車いすバスケットボールにおけるシュートの指導方略の一事例 -トップコーチ1名へのインタビュー調査から-	松本 沙羅	明星大学	34
P-2-4	卓越した女子車いすテニスプレーヤーがグラウンドストロークラリーで働かせている 実践知に関する事例研究	北崎 悦子	学習院大学	35
P-2-5	体幹機能の残存程度の違いによる車いすテニスのサーブ動作の特徴	五十嵐 安沙夏	日本福祉大学大学院スポーツ科学研究科	35
P-2-6	パラフェンシングにおけるアタック動作のバイオメカニクス分析	秤谷 名鷹	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	36
P-2-7	車いすラグビー駆動動作に対するクラス分けと競技レベルの影響	彦坂 幹斗	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	36
P-2-8	ブラインドテニスのクラス分け基準改訂に向けての Pre-Delphi 調査	横田 聡	神戸市立神戸アイセンター病院	37

## 一般演題 4 パラスポーツの器具と活用

14:40-15:50

座長 松尾 洋平 ちゅうざん病院

- 0-2-1 ポリ樹脂硬化剤を活用したパラ陸上競技用レーサーのバケットシート試作  
河島 則天 国立障害者リハビリテーションセンター研究所……………37
- 0-2-2 ボッチャ BC3 クラス選手を対象とした 3D プリントリレーサーの試作  
山根 季京 芝浦工業大学大学院……………38
- 0-2-3 パラ陸上競技車椅子レーサー T51 クラスのトレーニング方法の検討  
戸津崎 晃矢 芝浦工業大学……………38
- 0-2-4 当陸上競技を行う片側大腿義足利用者の姿勢制御力特性の検討  
小林 麗 十文字学園女子大学人間生活学部……………39
- 0-2-5 アイマスク装着ランナーのレーン内外側のタイムの検討  
笹川 結月 愛知学院大学……………39
- 0-2-6 座位・立位やり投における 体幹伸展角度と飛距離の関係性についての検討  
園田 陸登 愛知学院大学……………40
- 0-2-7 ターゲットスポーツにおける競技特性不安の特徴について  
- ボッチャ選手とアーチェリー選手との比較 -  
内藤 要 医療法人社団 村上整形外科クリニック……………40

## シンポジウム②

15:55-16:55

- 「愛知から、アジア、そして世界へ」……………24
- シンポジスト 井田 朋宏 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
- シンポジスト 大槻 洋也 至学館大学
- シンポジスト 兒玉 友 日本福祉大学
- シンポジスト 佐藤 圭太 トヨタ自動車株式会社
- 座 長 伊藤 倫之 愛知学院大学
- 三井 利仁 日本福祉大学